

平和・命・暮らしの願いまっすぐ届けます

「説明できない校則は見直しを」「医療的ケア児への支援体制の強化を」など、一人ひとりが大切にされる青森県へと取り組んできました。コロナ禍のもと、駅前や本町のお店などを一軒一軒訪問し、事業者の声を聞き、その声を県議会に届けてきました。

市民・県民の願い実現へ、さらにながらみます。

【略歴】1974年生まれ（49歳）／八戸工業大学卒業
／青森市浪館前田在住／県議1期
よしまた洋事務所／
青森市久須志1丁目13-16 電話 017-718-4531



よしまた洋で検索 🔍



対話の外交で平和まもる・他国攻めるミサイル持ち込むな！ 岸田政権の 大軍拡ストップの1票を！

子育て支援を 県政のど真ん中に

■子ども医療費無料化の拡充、全県で学校給食無償化へ。
子育て支援拡充のため県予算の1%の活用を。

■子どもの国保均等割の廃止。

医療・福祉の 安心を

■コロナ対策は後退させず万全に。ワクチン後遺症への手
立ても。■補聴器購入に助成を。■国保・介護の負担軽減。

■介護・保育などケア労働を支える。■病床削減計画の撤回。

八甲田への
風力発電中止を

青森の自然を そのまま未来に

■地域に密着した再エネ・省エネの促進を。

■原発・核燃政策の中止を。

■青森県を最終処分地にしない条例制定を。

ジェンダー平等

■パートナーシップ宣誓制度の充実を。■トイレト
ーパーと同じように、生理用品を学校のトイレに配備。

■中小企業支援と一体に、全国一律最賃1500円へ。■消費税は5%に減税。インボイス中止を。

日本共産党
よしまた洋